

新年のご挨拶
—今こそより活発な弁ク活動を—

弁理士クラブ幹事長
濱田 百合子



新年明けましておめでとうございます。

このたび令和5年度の弁理士クラブ幹事長に就任いたしました濱田百合子です。執行部を代表致しまして、新年のご挨拶をさせていただきます。

弁理士クラブ（略称「弁ク」）は、知的財産制度及び弁理士制度の改善を図ると共に会員相互の親睦及び福利の増進を図ることを目的としています。70年以上の歴史を誇り、日本弁理士会の運営の一翼を担い、さらに研修や同好会、判例研究会等、会員同士の交流や知識を共有する場を設ける等、様々な活動を活発に行って参りました。しかしながら、残念ながら、想定外のコロナ禍により、3年近くもの間、研修や旅行会、同好会等の活動が制限され、今まで経験したことのないレベルで、会員同士の交流がままならない状況となっています。さらに、ウクライナ侵攻等の世界各国の政情が不安定な状況が加わり、世界的な経済不況の波が、我々の仕事にも大きく影響しています。

このように対面の交流が制限され、しかも経済的に不安定な状況が続く閉塞感のぬぐえない今だからこそ、弁理士クラブでは、2021年6月より弁理士クラブメールマガジン（弁クメルマガ）を定期的に会員の皆様に配信したり、YouTubeにより弁ク活動の紹介を行ったり、次世代実務研を立ち上げたりして、対面交流に限られず、皆さまに積極的に有用な情報提供や意見交換の場を提供できるように力を入れております。幸い、特に中堅から若手会員の皆様のご協力により、これらの活動も軌道に乗って参りました。ご協力いただいている皆さまには、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

このような状況のときにこそ、意識的に仲間同士の交流を深め、情報交換をしていかなければ、知らぬ間に時流に取り残されてしまいます。特にベテラン会員から中堅・若手会員まで、世代間のみならず世代を超えて、互いを尊重しながら積極的に交流・親睦を深めていくことにより、それぞれの知識や人脈を広げていくことは非常に有益です。また、オンライン会議の普及により、様々な事情により今まで参加が難しかった会員の方達も弁ク活動へ参加しやすい環境が作れるようになってきており、今後もオンライン会議を有効に使っていくことも非常に重要です。

今こそ、弁理士が誇りをもってやりがいのある仕事を全うできるように、皆で知恵を絞りながら前に向かって進んでいくべきときと考えます。皆様の弁理士としての公私にわたる活動に、弁理士クラブが少しでもお役に立つことができるように、十分な体制を整え、皆様が参加しやすく有益であると実感できる組織となるように、執行部一同、精一杯努力していく所存です。

皆様もぜひとも弁ク活動に積極的にご参加いただき、弁理士会や知財業界を盛り上げつつ、未来に向かって進んで参りましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。